

2009年12月議会 一般質問

09年12月9日(水)(5番目)

日本共産党 藤木くにあき

日本共産党の藤木くにあきでございます。私は、小児科医師の確保について、国保税の据え置きについて、防災無線の整備について、国兼用水路の確保について、樹木名表示プレートの設置について、市長に、質問いたします。

質問の第一は、小児科医師の確保についてです。

常勤の産婦人科医師の確保ができていないなかで、今年度末で、庄原赤十字病院の2名の小児科医師が転勤されると聞いています。

小児科医師が、仮に1名体制になると入院の制限がおこり、救急外来の24時間365日のバックアップも難しくなってくるのではないのでしょうか。

庄原赤十字病院と協力し、なんとしても2名の小児科医師を確保すべきだと考えますが、どんなとりくみをすすめておられるのでしょうか。

また、後任の医師の確保についての見通しはどうなっているのでしょうか。明確な答弁を求めるものです。

以後の質問については、質問席からおこなわせていただきます。

質問の第二は国民健康保険税の据え置きについてです。

市民の生活実態は厳しいものがあり、国民健康保険税については、2008年度末の積立基金約7億4800万円を活用し、少なくとも、来年度も据え置くべきだと考えますがどうでしょうか。明確な答弁を求めます。

早期発見、早期治療で、全体として、国民健康保険の医療費を抑制するため、人間ドックや集団検診等に対する助成を増額すべきだと考えますがどうでしょうか。明確な答弁を求めます。

質問の第三は、防災無線の整備についてです。

2009年9月議会で、「全市一体的なデジタル防災無線システムの構築を図っていく」「今後長期総合計画の後期実施計画に計上するよう検討している」と答弁されていますが、長期総合計画の後期実施計画が完成する時期だと考えます。

そこで、お尋ねいたします。防災無線の全市一体的な整備の概算事業費と年度毎の具体的整備計画はどうなっているのでしょうか。明確な答弁を求めます。

庄原地域には、山内地区、七塚西地区のJ A関係の有線放送、川手地区のエリアトーク以外放送手段がないのが実情であり、特に庄原地域を早急に整備されるべきだと考えますがどうでしょうか。

その際、永年、行政放送の役割を担ってきた、山内地区、七塚西地区のＪＡ関係の有線放送設備については、既存設備の更新の一環としてとらえ、有線放送のための電柱、有線等の撤去費用を全額助成すべきだと考えますがどうでしょうか。明確な答弁を求めます。

質問の第四は、国兼用水路の確保についてです。

上原町の浄光寺西側の国兼用水路の両側の土地の所有者が、建設残土で、違法で危険な埋め立て等をおこない、用水路に、雨が降るたびに、土砂やブロックが地滑りを起こして流れ込んでいます。また、用水路の用地の幅を狭め、コンパネ等で立ち入れなくして、地元の水利組合の方が、用水路を管理できなくしています。

そのため、地元の水利組合の方と国兼用水路の両側の土地の所有者とのトラブルが続いています。

それを解決するため、青線水路の所有者である庄原市として、国兼用水路の両側の土地の所有者を厳しく指導し、改善させるべきだと考えますが、現状がどうなっているのか把握しておられるでしょうか。明確な答弁を求めます。

国兼用水路の両側の土地の所有者が、指導に従わない場合は、復元命令をおこない、それでも従わない場合は、行政処分をおこなうべきだと考えますがどうでしょうか。明確な答弁を求めます。

質問の第五は、樹木名表示プレートの設置についてです。

今回の新庁舎の外回りの植木には、立派な樹木名のプレートが設置されましたが、街路樹、公園の樹木に樹木名のプレートがないため、樹木名が分からない状況が続いています。そこで、樹木名のプレートを設置し、市民のみなさんの、自然や、エコに対する興味、知識を高めることに役立てたらどうか、と考えますがどうでしょうか。答弁を求めます。